

2015年3月27日

報道関係各位

中部学院大学
中部学院大学短期大学部

ベトナム・ホーチミン市師範大学と学術交流協定

中部学院大学（学長 古田 善伯）は、ベトナムのホーチミン市師範大学（グエン キムホン学長）と、学術交流協定を結ぶことになりました。

本学では2012年度からベトナム研修旅行を企画。これまで、ホーチミン市師範大学の学長を表敬訪問したり、同大学の日本語学科生と交流したり、親ぼくを深めてきました。また、2014年度から、同大学から2名が本学に留学しています。

今回の締結を機に、教職員や学生の交流をはじめ、相互文化理解カリキュラムの実施、共同調査やシンポジウムの開催などを図っていきます。

記

【学術交流協定締結式】

- 日 時 2015（平成27）年4月1日（水）午後0時45分～同1時30分
- 場 所 中部学院大学 関キャンパス 同窓会室（関市桐ヶ丘2丁目1番地）
- 日 程 開 会
協定書説明
協定書朗読
協定書署名
ホーチミン市師範大学学長あいさつ
中部学院大学学長あいさつ
写真撮影
意見交換会
記者からの質問
閉 会

■ 具体的な活動（予定）

- （１） 教職員の交流
- （２） 学生の交流
- （３） 高等教育および専門技能の提供
- （４） 相互文化理解カリキュラム
- （５） 共同調査およびシンポジウム
- （６） その他両者が合意した事項

■ 経 緯

2013年5月、ホーチミン市国際会議場、ハノイ I.C.E 国際展示場で「日本留学フェア」が開催され、本学も参加。留学生の募集、日本や岐阜県の紹介などを行った。このフェアへの参加を通じて、ホーチミン市師範大学日本語学科生（今年度10月から学部生）を中心に募集活動を展開。2014年度に同大学から卒業生2名が本学に入学した。また、2014年2月には本学副学長（短期大学部学長）以下教職員9名、学生6名が交流旅行を実施し、ホーチミン市師範大学学長表敬および日本語学科生との交流を行った。2014年度からは研修旅行（科目「異文化交流」2単位）を実施（2015年3月）。教職員5名と学生13名が同大学の日本語学部生との共同研究を実施。戦争、日越経済、福祉、文化のテーマでフィールドリサーチ、発表会を行ったり、一緒にベトナム戦争の爪痕が生々しいクチトンネルに出かけたりして、交流を深めてきた。

■ 備 考

【ホーチミン市師範大学】

1957年、ホーチミン市師範大学の前身であるサイゴン師範大学が開学。76年にホーチミン市師範大学と改名された。ハノイ師範大学とともに、南部の師範大学のひとつ。95年にはホーチミン市国家大学の傘下に入ったが、99年国家大学の下を離れ、ホーチミン市師範大学として独立。教育学部、大学院修士課程、博士課程がある。学生数：17,000人、留学生：86人、日本留学生（交換プログラム、2005年度）：14人。日本の大学との交流協定は7大学8件。

【中部学院大学】

大学院、大学4学部5学科、短期大学部2学科1専攻、通信教育部、留学生別科

- ・大学院＝人間福祉学研究科修士課程、博士課程
- ・大 学＝人間福祉学部人間福祉学科、同通信教育部
教育学部子ども教育学科
看護リハビリテーション学部理学療法学科、同看護学科
経営学部経営学科
- ・短期大学部＝幼児教育学科、社会福祉学科、専攻科（福祉専攻）

現在、本学が提携を結んでいる国外の大学

- ・ディアコーンヤンメ大学／ノルウェー（1998年～）
- ・モンゴル国立大学／モンゴル（2001年～）
- ・ミンダナオ国際大学／フィリピン共和国（2010年～）
- ・中台科技大学／台湾（2013年～）

以上

（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学 教育研究支援部 研究支援課 担当：浅野

TEL:0575-24-2238（関キャンパス） Mail : cgrd@chubu-gu.ac.jp